

【様式1】

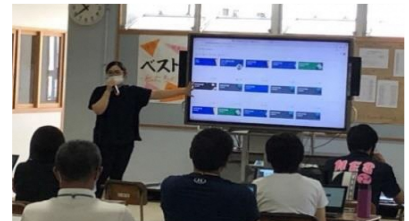
団体名 豊見城市立豊見城中学校	連絡先 TEL:098-850-0036 Eメール:jh-tomigusuku@city.tomigusuku.okinawa.jp
---------------------------	---

生徒の『自己肯定感』を高める教育活動の工夫

1 実践内容

(1) 「わかる授業」の構築による「確かな学力」の向上の推進

①校内 OJT の推進



②数学科職員で学習支援



①校内研修と連動した授業研究、教科会の充実

学校質問紙「学習の中でコンピューターなどの ICT 機器は勉強に役立つと思いますか」の質問に対して、「役に立つと思う」「どちらかといえば役に立つと思う」と答えた生徒が 94.8%であった。このことを踏まえ、校内研修で ICT 機器に詳しい職員を講師にスキル向上を図るとともに、各教科で ICT 機器を有効活用し、授業づくりに努めた。

②「手立てウイーク週間」の設定

○テスト前、評価前に手立てウイークを設定し、小集団による個別対応で学力向上を図っている。

③小中連携した系統的・継続的な授業改善

○3小学校との連携により、中学校に入学後の学習規律の定着がスムーズに図られる。

④自分の考えを広げ深める学び合いの場の工夫

③日頃からメモを取る習慣



④国語でのグループ活動



⑤自己肯定感を向上させる授業づくり

2年生の授業で沖縄キリスト教短期大学の玉城先生を招き、「性の多様性」について授業を行った。グループでディスカッションしながら、互いを認めることをねらいのひとつとして行った。総合学習的な学習の時間に各職業について知ること、新たな発見や夢や希望を持つことをねらいとして、地域の各職種の方々を招き体験型の授業を行った。



⑤美容師体験



⑤性についてのグループ発表

2 説明資料

○沖縄県生徒質問紙調査(2回目実施より) ()は昨年度

	「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」		
	本校	県全体	差
自分には、よいところがあると思いますか。	84.2% (79.6%)	80.3%	3.9%
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	87% (86.4%)	87.5%	↓0.5%

3 成果・課題

○ITC 機器を活用した校内研修において、本校職員を講師に職員同士の学び合いを通して、各教科の ICT を活用した授業づくりを展開することができた。また各教科ともオンライン学習の内容の充実が図られた。

●2分前着席や始・終業時のあいさつ、学習用具の準備といった学習規律の徹底が不十分であった。

